



## 私が受験生だった頃

三年生は明日からセンター試験です。これまでの勉強の成果を出し切ってくれることを願います。

私にも受験勉強をしていた時期があります。思い返すは6年前。2006年1月21日、22日に私はセンター試験を受験しました。クラスごとにバスに乗り、応援団に送り出されて宮崎大学に向かう道中、担任の先生が「キッチリ通るといことで」とキシリトールガムを下さり、苦笑いしたことを今でも鮮明に思い出します。試験中のことは、国語の現代文の小説に登場する女子高生の一人称が“僕”であったこと以外緊張と集中で殆ど覚えていません。ガムはおいしかったです。

試験の翌日は自己採点を行います。不安で胸いっぱいの中採点してみると、なんと希望していた点数がとれているのではないですか!! すぐさま浮かれる私。頬の筋肉も緩みます。しかし、現実はその甘くはありませんでした。その年のセンター試験は比較的点数が取りやすかったらしく、志望校の判定ではなんと“D”でした。(ボーダーラインが“B”なので非常に厳しい結果です。) 落ちるわけにはいかない…さすがに志望校を変更しようかと悩み、凹んでいました。私の落ち込みようなどには目もくれず、大学へ出願しなければならぬ期日は刻一刻と迫ってきます。そんな中、学校の廊下で友人のSと出くわしました。話をしてみるとSもセンター試験の判定はD、担任の先生との面談で「受かる可能性は2%くらいだね。二次試験で満点取れば受かるかもね。」と言われたとのこと。同じような状況だったので、どうするのか聞いてみたところ「2%可能性があるんなら俺は受ける。死ぬ気でやる。だからお前もやれ。」とのこと。そんな風に言われてしまったんじゃ、やるっきゃない。そんなこんなで私の残りの高校生活は勉強に明け暮れねばならないことが決定し、その日から私が人生で恐らく一番机に向かっていた期間が始まりました。

結果は私もSも無事奇跡の合格を果たし、先生達から「ごめん。君は落ちると思っていた。」と言われた二人は陰で「ちくしょう見糞りやがって!」と言い合いお互いの健闘を称え合いました。

そんなSも来年度から広島県で中学校の教員。正月に久しぶりに再会し「お前が教師かぁ」とか、「俺は受かると思ってたけどお前は絶対落ちると思っていた」とお互い笑い合いながらお酒を飲みました。辛いことや苦しいことは大人になって振り返ってみると味のある素敵な思い出になります。お酒のつまみは甘いものよりも辛いものやちょっぴり辛いものの方が良いものです。

1 年学年団 Y

### <1/21(土) 進研学力テスト時間割>

7:30 ~ 7:25 登校  
 7:30 ~ 7:35 受験カード記入  
 7:40 ~ 9:00 英語(80分)  
 9:10 ~ 10:50 数学(100分)  
 11:00 ~ 12:20 国語(80分)

※ 各100点満点、合計300点

1年の締めくくりの模試です。自己ベストを目指して頑張ろう!

### <学年集会での確認事項>

- 膝掛けの使用は教室のみ。移動時はたたんで持ち運ぶこと(肩掛け代わりにしないこと。)
- 休み時間にあめやガムを食べている生徒がいる。学校への菓子類の持ち込みは禁止。
- 女子の頭髪、肩より長い場合は必ず結ぶ。(髪の毛のゴムは黒・紺・茶のみ)
- 先生方に対する言葉遣いは正しく。

## 週行事予定表 (1/14~1/28)

月	日	曜	行事予定	課外
1	14	土	大学入試センター試験(3年)	
	15	日	大学入試センター試験(3年)	
	16	月	大学入試センター試験自己採点(3年)、教育相談週間(~1/20)	A 7:25着席
	17	火	3年特編授業(~2/23)	A 7:25着席
	18	水	校内百人一首大会(3限・4限・1限の授業)	A 7:25着席
	19	木		A 7:25着席
	20	金		A 7:25着席
	21	土	進研学力テスト	7:25着席
	22	日		
	23	月		B 7:25着席
	24	火		B 7:25着席
	25	水	1~6限45分短縮、7限統一LHR人権教育(80分)	B 7:25着席
	26	木		B 7:25着席
	27	金	職員会議	B 7:25着席
	28	土	土曜講座(第4週時間割)	

※ 1/16(月)のETは「生まれてくれてありがとう」を読んで、保護者への手紙を書く時間になります。